



みねかえで しるし あお  
**峰楓 徽章と仰ぎ**

第1号

【文責 中原 功博(教頭)】

## 「今日」を迎えるということ

晴れ渡る4月6日、令和3年度の始業式・入学式を迎えることができました。全ての皆様に感謝するとともに、新入生111名を加え、全校生徒319名で伊那中学校がスタートです。



【晴れ渡るこの日に】

### 一学期始業式 挨拶(校長 有賀 稔)

2、3年生の皆さん 進級おめでとうございます。今日ここに令和3年度の伊那中学校がスタートします。一学期始業式にあたり少しお話をさせていただきます。

一つ目は、「当たり前」ということです。“コロナ”というこれまで経験のなかった状況の毎日ですが、そんな中で「当たり前」にできること それは非常に尊いことだ」ということを私たちは実感しました。このことは、午後の入学式でもお話をさせていただく予定ですが、2、3年生の皆さん、今日こうやって2、3年生に進級できたこと、もしかすると皆さんは「当たり前」と考えているかもしれません。

しかし、今日のこの日は決して自分一人の力で迎えられた訳ではありません。そこには皆さんを取り巻く友、親、家族、親戚、地域の方々、学校の先生、皆さんの周りの実によくの人たちに支えられ、信頼されることによって「今日」を迎えることができたのです。

だからこそ、「人を大切にする」「人に感謝する」「当たり前のことが当たり前」にできていることに気づき、喜びが持てる」その心を大事にして欲しいのです。そして優しさやうれしさを感じたときには、素直に「ありがとう」が口に出せる人になって欲しいと願います。

もう一つは、どんな状況にあっても「人間は知恵と工夫で前に進んでいかなければいけない」ということです。そのためには、知恵と工夫に役立つ、言い方を変えれば「問題を解決する力」を養うために日常の学びを充実させる必要があります。昨年度三学期終業式で伊那中マイチャレンジについてお話をさせていただきましたが、伊那中マイチャレンジでの学びは、問題解決力を高める学びなると考えます。もちろん、日常の教科学習の中でこそ、自ら疑問をもち、その疑問を解決しようとする学びが大事になります。たくさん覚えることばかりが勉強ではないのです。

さて、そんな学びの中でぜひ意識してほしいことの一つに「考え方を比較してみる」ということがあります。「他の人の考え方と自分の考え方はどこが同じなのか比較してみる」、また「違いはどこか、どう違うのかを比較してみる」。すると自分の考えがより明確になってきます。また違う考え方に触れることにより、自分の感性や価値観が広がります。そのためには、授業の中での意見を交換することが大事になります。それは時には学級全体の場合かもしれません。時にはグループの中、時には隣の席の人と。大いに語り合っ

て授業を行ってほしいと願います。そんな学習の中で、「知恵と工夫をする力」は養われると思います。

コロナの状況は、まだまだ予断をゆるしませんし、この先どうなるかもわかりませんが、「当たり前」に感謝し、「知恵と工夫」にあふれた一学期となることを願います。  
(終)



### 令和3年度新任職員紹介

氏名	担当	前任	氏名	担当	前任
中原功博	教頭	県教育委員会学部の改革支援課	清水句美	給食技師	西箕輪共同調理場
松田慎也	保健体育	菅野中学校	城倉建治	スクーリングサポートスタッフ	南信教育事務所
池田伸也	社会	赤穂中学校	高見真実	部活動支援員	箕輪南小学校
伊藤秀秋	理科	諏訪西中学校	宮本朋子	数学	新規採用
伊藤裕美	給食技師	伊那東小学校	溝口麻衣子	支援員	新規採用
寺澤麻美	給食技師	伊那東部中学校			

## 入学式 学校長式辞

例年になく、今年の春の訪れは早く、ここ伊那の地でも、桜吹雪が舞う美しさあふれる中での入学式を迎えることができました。(略)  
百十一名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

ようこそ伊那中学校へ。今こうして皆さん一人一人の顔を見ますと、緊張の中にも瞳が輝いて「よし 頑張るぞ」という意気込みが伝わってきます。

昔から中学生の十三歳から十五歳の頃は、人間の一生にとってもっとも大切な時期であると言われます。それは、心身ともに大きく成長するからです。三年間で身長も伸び体重も増えます。同時に、様々な勉強をしたり、時には笑ったり時には悲しんだり悔しい思いをする経験を積むことで、体力や学力だけでなく、**智恵がつき心が豊かになり、精神的に自立しようとする**、そんな成長と充実の時期になります。中学校三年間は、自分の人生の土台を作る時なのです。そんな時期を迎える、皆さんに私から伝えたいこと それは「**当たり前のこと**に感謝する」ということです。



私たちは今、新型コロナウイルス感染防止というこれまで経験したことのない状況の中で生きています。学校においては、臨時休校や毎年やってきた行事や活動を、やむを得ず中止したり変更したりする状況にあります。時には苦しさや悲しみも感じることがありますが、同時に、「**当たり前のこと**が当たり前でできること、普通に生活できること」がどれだけ素晴らしいことだったかを実感しています。また、私たちは「**いろいろな方法で、この状況を乗り切ろうとする知恵や工夫をすること**」を学んでいます。

新入生の皆さん、今日こうやって伊那中学校に入学できたこと、もしかすると皆さんは「**当たり前**」と考えているかもしれません。

しかし、今日のこの日は決して自分一人の力で迎えられた訳ではありません。そこには皆さんを取り巻く友、親、家族、親戚、地域の方々、学校の先生、皆さんの周りの実に多くの人たちに支えられ、信頼されることによって「**今日**」を迎えることができたのです。

だからこそ、「人を大切にする」「人に感謝する」「**当たり前のこと**が**当たり前**にできていることに気づき、喜びが持てる」その心を大事にして欲しいのです。そして優しさやうれしさを感じたときには、素直に「**ありがとう**」が口にできる人になって欲しいと願います。(略)

結びに、新型コロナウイルス感染防止という状況の中、本日の入学式も縮小した形とはなりましたが、こうやって、新入生の晴れやかな顔を見ることができた入学式のこの場に感謝するとともに、伊那中学校の教育活動にご理解、ご協力をいただいておりますすべての皆様に感謝申し上げます、式辞と致します。

(伊那市立伊那中学校長 有賀 稔)

### 夜間・休日の電話対応について

標記の件につきまして下記の通り対応しております。ご確認の上、ご理解とご協力をお願いいたします。

- (1) 平日の電話対応 7:50~19:00
- (2) 休日の電話対応はできません。
- (3) 教育関係者向け連絡網システム(オクレンジャー)を使い、学校から必要な連絡をします。
- (4) 緊急に学校へ連絡する必要がある場合は、以下の連絡先をお願いします。

【伊那中学校緊急連絡電話】 070-4127-6087

- (5) 保護者からの欠席連絡が、オクレンジャーを使ってできるようになりました。

対応時間は6:00~8:30です。

ご家庭や地域の皆様、本年度もよろしくお願いたします。(伊那市立伊那中学校 職員一同)